

家庭学習の手引き



岡崎小学校

1. どうして家庭で学習することが必要ですか？

① 学習することの習慣づけ

学校で学習したことを確実に身に付けていくためには、繰り返し取り組むことが必要不可欠です。



また、小さいうちから毎日机に向かうことは、学年が進むにつれて高度になる学習内容の確実な習得へ向けてとても大切になります。

無理なく継続していける習慣を形成していくことが、今後の子供たちの成長のためにとっても大切になります。

② 学んだことの定着・深まり・広がり

漢字の「読み書き」や「計算」、「音読」などを確実に身に付けるためには、何度も繰り返し練習して定着させることが重要です。また、そこで身につけられた力が他の全ての学習の基礎となっていきます。そこで、同じような学習内容でも、「もっと速く・正確にできるようになりたい。」という習熟への意識や、「もっと調べてみたい。」「自分で工夫してまとめてみたい。」という意欲を発揮する場面になるのも家庭での学習であるといえます。

③ 自分で学ぼうとする意欲の育ち

授業で経験したことをきっかけに、「僕もできそうだ。」「調べると楽しそうだな。」「やってみたら、楽しかった。」という感想を抱く子どもたちはたくさんいます。そういう「学ぶことの喜び」をさらに蓄積していくために、日常生活の中で課題を見つけ出し、追究していくような学習を大切にしたいものです。そのような体験が次の学びへの意欲の育ちへとつながると考えています。

2. どの程度やったらよいですか？

「学年×10分以上」という時間が一応の目安としてよく言われています。ただ、これはあくまでも目安で、全員が一律というわけにはいきません。学年が進むにつれて取り組むべき適切な時間や量を自分で決めて、自分で実行できるようにさせていきたいものです。

3. 親は、家庭での学習にどのようにかかわったらよいですか？

低学年の場合は、自分では正しくやっているつもりでも、勘違いや技能の稚拙さから、誤ったまま終わらせてしまうことが見られます。そのため、お家の方が間違えがあれば直させるなど、確実な見取りが必要となります。しかし、低学年の子どもたちは、意欲いっぱいです。間違いを必要以上に責めるのではなく、適切に助言しながらやる気を高めさせていくことが、その後の学習全般に大いに役立つでしょう。

高学年になると、比較的正確に自分の学習を振り返ることができるようになってきます。そのため、保護者の皆様のこれまでの経験を踏まえながら、内容に関する適切な助言をするという方に軸足を移して行ってはいかがでしょう。そうすることで子どもたちの学習も豊かに広がっていくのではないのでしょうか。

学習意欲の継続のためには、保護者の方の声かけ、励ましや助言も大切です。

こんな学習をしたらどうでしょう

宿題があったら、最初にそれをさせてください。時間が余ったら、下の中か選んでさせてください。(高学年は自分で考えてさせてもいいでしょう。)

国語	算数	社会・理科・総合
<ul style="list-style-type: none">・ドリルなどの漢字学習・意味調べ・日記・音読・視写・テストの問題をもう一度解く。	<ul style="list-style-type: none">・ドリルなどの計算練習・教科書の問題・百マス計算・テストの問題をもう一度解く。	<ul style="list-style-type: none">・勉強したことに関係のあることを資料などで調べる。・授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる。
日常生活		
<ul style="list-style-type: none">・読書をしましょう。・国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近に置いて調べましょう。・日本地図、世界地図、地球儀を身近に置いて調べましょう。・詩や百人一首、ことわざ、慣用句などを写したり、暗唱したりしましょう。		

どうしても、勉強に飽きてしまうときは、読書でも折り紙でも何でもかまいませんが、必ず机に向かわせましょう。「机に向かう」をいう習慣が必要です。

きょうも チャレンジ !! (1・2ねんせい)

1. がくしゅうのすすめかたとポイント

- (1) テレビをけして、つくえのうえなどをきれいにかたづけて、しゅうちゅうしましょう。
- (2) ベンキョウするじかんをきめましょう。
- (3) ただしいしせいでベンキョウしましょう。
- (4) まいにち しゅくだいとおんどくをしましょう。
- (5) しゅくだいをすませたら、よしゅう・ふくしゅうも できればしましょう。
- (6) ベンキョウじかんは、20ふん～30ふんをめやすにしましょう。
- (7) ベンキョウがおわったら、じかんわりなど、あしたのじゅんぴをしましょう。

2. ベンキョウのしかた

(1) 本よみは・・・

- ①こくごのきょうかしよが、すらすらよめるように れんしゅうしましょう。
- ②ゆっくり、はっきり よみましょう。
- ③つぎのステップは、かいわ文や「、」や「。」にきをつけましょう。

(2) こくごのベンキョウは・・・

- ①ならったひらがなやカタカナかんじをただしくかけるように、かきじゅんにきをつけてれんしゅうしましょう。
- ②きょうかしよのぶんしょうをノートにていねいにうつしてみましよう(2ねんせい)。
- ③ぶんしょうをかくときは、「は」「を」「へ」にきをつけて かきましよう。

(3) さんすうのベンキョウは・・・

- ①すうじは ただしいかきじゅんで かきましよう。
- ②おわったら、もういちど みなおしましよう。
- ③まちがえたもんだいは、もういちど やりなおしましよう。

(4) ベンキョウがおわったら・・・

- ①ベンキョウしたことを おうちのひとに みてもらいましよう。
- ②えんぴつをけずり、あしたのじかんわりを そろえましよう。
- ③あした つかうものを よういましよう。

きょうも チャレンジ !! (3・4年生)

1. 学習の手順

- (1) テレビを消して、机の上などをきれいにかたづけてみましょう。
- (2) 時間を決めて、早い目に始めましょう。3・4年生の時間のめやすは40～50分です。
- (3) 正しい姿勢で勉強しましょう。
- (4) 宿題と音読を毎日しましょう。
- (5) 宿題が終わったら、自主学習（予習・復習も入る）に取り組みましょう。
- (6) 終わったら、明日の準備をしましょう。

2. 勉強のしかた

(1) 国語の勉強は・・・

- ①教科書の文をていねいにノートに写してみましょう。
- ②習った言葉を使って、短い文を作ってみましょう。
- ③新しく習った漢字やおぼえていない漢字を練習しましょう。
- ④好きな本や他の教科書を音読しましょう。
- ⑤分からない言葉があつたら、辞書で調べましょう。

(2) 算数の勉強は・・・

- ①終わったら、もう一度見直し、まちがえた問題は、必ずやりなおしましょう。
- ②九九をきちんと覚えましょう。
- ③かけ算、わり算を正確にできるようになるまで練習しましょう。

(3) 予習・復習をしよう。

学校での授業をより深く理解するためには、予習、復習することが効果的です。

どんなことをすればよいでしょう？たとえば、次のような方法がありますよ。

- 予習：次の日に習うところを読みましょう。読むことで、授業で何を勉強するかを知り、わからない部分があれば、その部分を授業で分かろうとすればよいのです。声に出して読むと、より効果的ですよ。
- 復習：授業で学習した内容をふり返るために、ノートを読み返してみましょう。自分で「大丈夫だ。わかった」と思ったら「OK」などの印をつけることで、分かるところと分からないところをはっきりさせましょう。

※あくまでも、短時間でできる1つの方法です。ただ、どのような方法でも、毎日続けることが一番大切なことです。

(4) 勉強が終わったら

- ①勉強が終わったら、おうちの人に見てもらいましょう（サインなどもらう）。
- ②明日の時間割をそろえましょう（えんぴつもけずりましょう）。
- ③明日使うものを用意しましょう。

きょうも チャレンジ !! (5・6年生)

1. 学習の手順

- (1) テレビを消して、机の上などをきれいにかたづけましょう。
- (2) 時間を決めて、早い目に始めましょう。5・6年生の時間のめやすは60～70分です。
- (3) 正しい姿勢で勉強しましょう。
- (4) 宿題と音読を毎日しましょう。
- (5) 宿題が終わったら、自主学習（予習・復習も入る）に取り組みましょう。
- (6) 終わったら、明日の準備をしましょう。

2. 勉強のしかた

(1) 国語の勉強は・・・

- ①教科書の文をていねいにノートに写してみよう。
- ②習った言葉を使って、短い文を作りましょう。
- ③新しく習った漢字やおぼえていない漢字を練習しましょう。
- ④好きな本や他の教科書を音読しましょう。
- ②分からない言葉があったら、辞書で調べましょう。

(2) 算数の勉強は・・・

- ①終わったら、もう一度見直しましょう。
- ②まちがえた問題は、必ずやりなおしましょう。
- ③応用問題にも挑戦しましょう。
(絵、線分図、樹形図、表などに書いて考えましょう。)

(3) 予習・復習をしよう。

学校での授業をより深く理解するためには、予習、復習することが効果的です。どんなことをすればよいでしょう？たとえば、次のような方法がありますよ。

●予習：次の日に習うところを読みましょう。読むことで、授業で何を勉強するかを知り、わからない部分があれば、その部分を授業で分かろうとすればよいのです。声に出して読むと、より効果的です。

●復習：授業で学習した内容を振り返るために、ノートを読み返してみよう。

自分で「大丈夫だ。わかった」と思ったら「OK」などの印をつけることで、分かるところと分からないところをはっきりさせましょう。

※あくまでも、短時間でできる1つの方法です。ただ、どのような方法でも、毎日続けることが一番大切なことです。

(4) 勉強が終わったら、お家の人に見てもらいましょう。

3. 自主学習（宿題の他に自分で工夫する勉強）に取り組もう！！

「学校で学習して終わり」ではなく、それを生かしていろいろなことに取り組むことが大切になってくるので、得意なことを伸ばし、苦手なことは克服していきましょう。例えば、**次のような方法もあります（あくまでも1つの例です）**

【国語】 ○教科書以外の本を音読したり、興味をもった本を読んだりする。

○習ったことに関係する言葉や漢字の意味、由来について調べる。

○新聞や本などを利用して、自分なりに新聞（記事）を書いてみる。

【算数】 ○広告を見て、どの店が安いか、単分量あたりの計算を利用して調べる。

○面積・体積を求める公式を利用し、身の回りのものの面積・体積を求める。

【社会】 ○習った県や市町村以外についても、同じように調べてまとめる。

（白地図に記入していくのもよいでしょう）

○歴史上の出来事などについて、自分なりにイラストや図、年表などを書いてみる。

【理科】 ○継続して身の回りの現象などを観察し、変化を調べる。

○興味をもった生物や植物について図鑑をみたり、その絵を描いたりして、その特徴を知る。

※さまざまな学習の中で、どこが違うか、どのように変わったかなど、事がらや現象、形や状況などを比べてみることを大切にしましょう。

